

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## ロッテ・ショッピング・カンパニー・リミテッド（証券コード：-）

### 【見通し変更】

外貨建長期発行体格付	A +	
格付の見通し	安定的	ネガティブ

### 格付事由

- (1) 韓国第5位の財閥である韓国ロッテグループの中核会社。同グループは1967年に設立されたロッテ製菓から始まり、現在は食品、流通、観光・サービス、化学・建設、金融の5つの事業部門94社（国内）から成る。各事業会社はグループの中長期的な戦略に基づき運営されており、資本面、事業面で協力関係にある。当社を含めた流通部門の売上高は36兆ウォン（15/12期）、グループ内でのウエートは44%（同）と最大の事業部門となっている。当社は同部門の中核企業であり、百貨店、ディスカウントストア、家電量販店、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、TV・ネットショッピングなど免税店事業を除くあらゆる流通チャネルを展開している。
- (2) 当社売上高29兆ウォン（約2.7兆円、15/12期）は、アジアでトップクラスにある。また、韓国において百貨店、家電量販店でトップシェアを占めるなど、強固な事業基盤を構築している。その一方、韓国内の景気動向や政府規制の影響を大きく受ける。16/12期の営業利益は、国内ディスカウントストア事業の苦戦、海外における百貨店事業およびディスカウントストア事業の営業赤字の継続などにより回復が遅れている。韓国経済の低迷、家計債務問題の影響から今後の個人消費の回復が限定的とみられる中、この先の収益回復状況については慎重に見極める必要があると考える。ただし、業績低迷による財務内容への影響は、今のところ軽微にとどまっていることから格付は据え置きとした。他方、ロッテグループのガバナンス問題については、オーナー族を中心にグループ経営トップが横領・背任の容疑で検察により在宅起訴される事態となり、経営権を巡る兄弟間の争いと合わせ、今後の展開に注意が必要となっている。業績低迷が続くことへの懸念とガバナンス問題の影響を考慮し、格付の見通しは安定的からネガティブに変更した。今後は、収益動向および財務構成の改善状況を確認していくとともに、16年10月に公表されたグループ経営改革案の進捗を含め、同問題の展開とグループ各社への影響を注視していく。
- (3) 収益の中核を担う百貨店事業は、富裕層に加え若い世代も含めた幅広い客層や外国人観光客をも取り込み、国内トップシェアを堅持している。近年、アウトレットモールの新規出店を行っており、事業ポートフォリオの強化を図っている。ディスカウントストア事業では、国内での収益改善に向けて、店舗改装や生鮮食品の品質向上による既存店売上高の回復、コストコントロールの強化が重要と考える。海外では不採算店舗の閉鎖などにより利益改善がみられるが、店舗運営の効率化に継続的に取り組む必要がある。家電量販店事業は、品揃えの更なる充実や新規出店などによりトップシェアを維持していくとみている。
- (4) 16/12期第3四半期累計の売上高は22.8兆ウォン（前年同期比2.2%増）と、百貨店事業やコンビニエンスストア事業などが売上を伸ばし、増収となった。一方、営業利益は0.5兆ウォン（同16.5%減）と減益となった。ディスカウントストア事業が、国内既存店売上の減少や人件費をはじめとしたコストアップなどにより大幅な減益となったことが影響した。国内百貨店事業に底打ちの動きがみられる中、国内ディスカウントストア事業の立て直しが、当社収益の回復に向けて重要となっている。16/12期第2四半期末の支配企業所有者持分比率40.3%（15/12期末39.9%）など、財務構成に大きな変動はみられない。成長に向けてアウトレットモールなどの新規出店が続くとみられるが、キャッシュフローを考慮しながら投資を実施していく方針であり、財務構成が大幅に悪化する懸念は小さいとみている。

（担当）田村 喜彦・大塚 浩芳

## 格付対象

発行体：ロッテ・ショッピング・カンパニー・リミテッド ( Lotte Shopping Co., Ltd. )

### 【見直し変更】

対象	格付	見直し
外貨建長期発行体格付	A+	ネガティブ

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2016年12月6日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤  
主任格付アナリスト：田村 喜彦
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ ( <http://www.jcr.co.jp/> ) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ ( <http://www.jcr.co.jp/> ) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「小売」(2011年7月13日)として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) ロット・ショッピング・カンパニー・リミテッド ( Lotte Shopping Co., Ltd. )
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO ( Nationally Recognized Statistical Rating Organization ) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ ( <http://www.jcr.co.jp/en/> ) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル